

尿もれ(尿失禁)は単なる身体的な症状にとどまらず、心理面や社会活動など、生活の質(QOL)に多大な影響を及ぼします。

でも、あきらめないでください。

たとえ、そのような障害があったとしても、ご自身に合った排泄用具を用いることで支障なく社会生活を営むことは可能です。

トメレは排尿を自己コントロールできるように支援する排泄用具の一つです。

PICK UP!!

使用者の声

行動面では

- ・外出が苦にならなくなった。
- ・数泊の旅行が楽しみになった。
- ・ゴルフが再開できた。
- ・(漏れで)尿意をあまり感じなかったが装着すると尿意を感じるように。
- ・1回あたりの排尿量が多くなりトイレの回数とパッド枚数が減少した。

心理面では

- ・(漏れる前の)排尿感覚が戻り、精神的に安定した。
- ・以前のように『シャー』とおしっこが出来た時は本当に嬉しかった。人として自信が戻った。
- ・術後、数年間の悩みが消えた。

社会面では

- ・心配なく日常生活が送れるようになった。

トメレ使用者アンケートによく寄せられるフレーズ。

“パッドの使用枚数が減り、
楽になりました。”

“しっかりと尿がたまるようになって、
久しぶりに気持ちよく排尿できました。”

“外出時に装着。パッド交換を考える
必要がなくなりました。”

“尿かぶれが改善されました。”



インターネットで尿もれ対策がないか検索していたところ「トメレ」を発見し、泌尿器科の先生に使用の可否を確認し、購入しました。尿とりパッドの使用による陰部のジメジメ感が少なくなり大変重宝しています。同じ悩みを持つ人がいれば紹介したくなりました。(71才 愛知)

宿泊旅行の時、パッドをたくさん持って行かないといけなかったのですが、旅行に行くのをためらっていましたが、トメレのおかげで気にすることなく行けるようになりました。一つ難を言えば(使い始めて)3年程になりますが締め付けの調整が今ひとつ難しいです。今後共より良い製品の開発を期待しています。(78才 大阪)

10年前の前立腺がん手術、一昨年前の膀胱がん手術により尿漏れが発生。立仕事時じわっと濡れる不快感をトメレの装着により防止でき助かっています。装着後時間がたつと少しゆるみ易くなること、硬い感じが気になること、もう少し締めつけ易くコンパクトになればと感じています。しかし、生活の質が向上し行動し易く助かっていることはありがたいことです。(75才 岡山)

今後、解決したい 課題・ご要望

- ・最初、装着がうまくできなかった。
- ・(締め方が)緩いと外れることがあり、きついと痛くなる。その加減が難しい。
- ・「最適な圧迫度合い」が難しい。
- ・長時間座っていると、しめつけで痛くなることがある。
- ・使用頻度が多いため、痛みが生じて(しっかりと圧迫できず)漏れることがある。
- ・長時間装着時にかゆみが生じた。
- ・炎症が起きることがある。
- ・「ちよい漏れ」の調整が難しい。
- ・もっとコンパクトにならないか。

check!!



ご使用にあたって

使用直後より、ベルト片側に、毛羽立ちが生じます。緩み止め構造の作用によるもので、機能には問題ありません。

よくある質問 [Q&A]

PCD（陰茎圧迫器具）には尿もれを一時的にコントロールできるベネフィットがある一方、適切な使用法の範囲外では有害事象が生じるリスクがあります。トメレの効果を最大限に引き出し、QOLを高めていくためには、使用される方の理解と協力が不可欠です。

Q1 陰茎を圧迫して血流に影響はありませんか？

A 血流を確保し、うっ血を防ぐシリコン製の突起（スパーサー）があります。ただし、2～3時間ごとに、必ず陰茎の圧迫を緩めて排尿してください。何かに集中して、トイレに行くのを忘れた…ということがないように。陰茎の健康を考え、必ず一定の時間ごとに圧迫を緩めることが使用の大前提です。

Q2 陰茎の皮膚にトラブルはありませんか？

A 尿失禁は皮膚炎を頻発する場合があります。そのため、(1) 陰茎と接触する部分（カバー）に天然シルクを使用し、皮膚蒸れからくる刺激を抑制(2) スパーサーによって通気性を確保し、皮膚蒸れを抑制(3) カバーの機能性を高めることで、炎症を抑制等、皮膚ストレスの軽減に配慮した工夫をしています。

Q3 一日の装用時間の目安は？

A 目安時間は特に設けていませんが、陰茎の健康を考え、装用時間が長くなり過ぎないように気をつけてください。ユーザーさまご自身が、常に陰茎の状態を把握することが大切です。

Q4 就寝時に尿漏れをします。トメレを緩めにつけて寝ても良いですか？

A トメレは就寝時の装用はできません。事故、障害につながるリスクが飛躍的に高まります。絶対におやめください。

Q5 現在、パッドを利用しています。トメレでパッドがいらなくなりますか？

A トメレはパッド併用で使用します。トメレは装用することで「尿失禁量を一時的に低減させる」ものです。また、装用時は完全に尿漏れを止めるのではなく、くしゃみやせきなどの腹圧がかかったときは、じわっと漏れが生じるような固定の仕方を推奨しています（過度な締め付けによる障害防止のため）。そのため、漏れの受け皿となるパッドは欠かせません。

Q6 トメレとパッド併用の具体例を教えてください。

A 併用を開始された方から「尿漏れを気にせずゴルフができた」「外出がおっくうではなくなった」「パッド交換が少なくなり仕事に集中できた」、という声が届いています。トメレとパッドを上手に組み合わせれば、アクティビティを高めたり、毎日の排尿管理の負担を軽減させる可能性があります。

Q7 初めて利用します。陰茎のどのへんに装着するのでしょうか？

A 陰茎の中央または根元側の放尿しやすく、締め付けやすい位置で仮固定します（陰毛を挟まないよう）。その後、陰茎を押さえる押圧リングを垂直にして圧迫していきます。

Q8 どれくらいの強さで圧迫するのですか？

A 最初は「ちょっと強いかな」と感じるころまで圧迫し、その後、少しずつ緩めて、ご自分の「最適な圧迫度合い」を探り当ててください。慣れるまでに少し時間がかかりますが、コツさえつかめば、手早くできるようになります。

Q9 装着している間に外れることがあります。

A しっかりと固定されていない懸念があります。トメレは圧迫が強すぎると違和感が生じますが、弱すぎると漏れ、また、外れやすくなります。

Q10 トメレのサイズはいくつありますか？

A 1サイズで様々な陰茎サイズに対応するようになっています。ただし、陰茎が小さい、もしくは埋没陰茎の場合、トメレを装着できないことがあります。

Q11 カバーは洗濯できますか？

A カバーだけを洗濯するのではなく、トメレを「カバーを付けたまま丸洗い」するのが基本です。詳しくは、取扱説明書もしくは動画（PCDトメレの洗浄方法）をご覧ください。

Q12 トメレを装用してのMRI検査はなぜダメなのですか？

A 大きな磁力を用いるMRI検査は金属持ち込み禁止です。トメレはベルトストッパーに金属バネ（ステンレス製）を使用しています。

Q13 購入するには？

A トメレの使用には、「医師の診察が必要」になります。「PCD（陰茎圧迫器具）利用に問題なし」と判断された患者さまだけが、トメレ購入が可能になります。ご購入に関しては、医療機関にご相談くださいませ。

Q14 保険は適用されますか？

A 保険外負担品です。患者さまの『自費購入』となります。